

2 無形文化財

No.	名 称	員数	概 要	所在地	保持者	指定（認定） 年月日	指定・ 認定番号	最寄り駅 （備考）
1	長板中型		染色技術。江戸期に江戸を中心に広まり、主に浴衣染めとして用いられる。表裏の模様が重なるように型付けするのが特徴。			昭 30・11・1	埼玉指 第60号	
				八潮市大瀬	初山 寛	(平 16・3・23)	埼玉認 第8-11号	つくばエクスプレス 八潮駅
				八潮市古新田	大熊敏男	(平 16・3・23)	埼玉認 第8-12号	つくばエクスプレス 八潮駅
2	江戸木目込人形		工芸技術。桐塑の生地に衣裳に合わせて筋彫をし、そこに布地を木目込んで作る。第二次世界大戦時の空襲疎開により東京から岩槻に伝わる。	さいたま市 岩槻区	岩槻江戸 木目込人形 技術保存会	平 16・3・23 (追加認定) (平 23・3・18)	埼玉指 第496号 埼玉認 第10-3号	東武野田線 岩槻駅